

東北中体連サッカー専門部 災害時緊急対応について

○予定通りの大会の実施が困難な場合の対応

自然災害や感染症の流行、ミサイル発射等により、東北大会の予定通りの開催が難しい状況に陥った場合は、東北中体連事務局と東北中体連サッカー専門部との協議の上、以下のように対応していくこととする。

- 1 大震災や大津波等、ミサイルの領土内の落下等、社会に重大な影響を及ぼす災害が起こった場合は、全国大会の出場権の如何を問わず、大会を即刻中止する。その際の全国大会出場権については以下のように対応する。尚、抽選を行い、その試合の勝者を決定したり、代表順位を決めたりする場合は各チーム関係者1名(監督・引率者のいずれか)が原則出席することとする。

(1)大会開催日前に中止になった場合

東北各県1位のチームでの抽選を行い、全国大会出場チームを決定する。尚、チーム関係者が集まれない場合は、東北各県サッカー専門委員長もしくは大会部会長にて代理抽選を行う。

(2)大会中に中止になった場合

- ①試合が終了している場合はその結果を反映させる。試合途中のものは、以下の基準によってその試合の勝敗を決定する。

ア:前半途中であれば、点差に関わらず抽選によってその試合の勝者を決定する

イ:前半終了時点、後半途中であればその時点でリードしているチームを勝者とする

- ②終了していない試合ごとに抽選を行い、その試合の勝者を決定させ、全国大会出場チームが決定するまで試合ごとに抽選を行うこととする。

- 2 上記以外の場合で開催地の変更や順延等の対応が難しい状況である場合は試合数を極力少なくし、全国大会出場チームが決定できる試合を行う。その場合は各県からの東北大会出場チームを1チーム(各県の1位のチーム)として以下のような対応で行う。尚、抽選を行う場合は各チーム関係者1名(監督・引率者のいずれか)が原則出席することとする。

※各県1位のチームが参加できない場合は各県の2位のチームが出場することとする。

(1)東北六県全てからチームが参加できる場合

ア 6チームから全国大会出場チーム(3チーム)を決める試合を行う。

イ アで勝った3チームを全国大会出場チームとする

ウ 全国大会出場チームの代表順位は抽選で決めることとする。

※アの試合の組み合わせにおいては東北六県委員長会議での抽選において決定することとする。

(2)一部の県だけが参加できない状況になった場合(1県のみ参加できない場合)

ア 5チームから全国大会出場チーム(3チーム)を決める試合を行う。

イ 5チームによるノックアウト方式で試合を行う

ウ 1日目は小山の試合のみ行い、2日目に4チームによるノックアウト方式で試合を行う。2日目の試合で勝ったチームは全国大会出場決定とする。また、負けたチーム同士で試合を行い、その試合で勝ったチームが全国大会出場チーム(第3代表)とする。

※イの組み合わせにおいては昨年度の順位や開催県などを考慮し、東北六県委員長会議での抽選において決定することとする。

※全国大会出場チームの代表順位は抽選を行い、第1・第2代表を決定する。

(3)一部の県だけが参加できない状況になった場合(2県が参加できない場合)

ア 4チームによる全国大会出場チーム(3チーム)を決める試合を行う

イ 4チームによるノックアウト方式で試合を行う

ウ イで勝ったチームは全国大会出場決定とする。また、負けたチーム同士で試合を行い、その試合で勝ったチームが全国大会出場チーム(第3代表)とする。

※イの組み合わせにおいては昨年度の順位や開催県などを考慮し、東北六県委員長会議での抽選において決定することとする。

※全国大会出場チームの代表順位は抽選を行い、第1・第2代表を決定する。

(4)一部の県だけが参加できない状況になった場合(3県が参加できない場合)

・出場した3県のチームを全国大会出場チームとする。

※全国大会出場チームの代表順位は抽選を行い、決定する。